

		合理的配慮	ユニバーサルデザインの視点	学級の支持的風土
		I	II	III
授業づくり	A	<input type="checkbox"/> 学級に在籍する，支援を要する児童生徒が何に困っているか把握している。	<input type="checkbox"/> 普段から，UDの視点を生かした授業を行っている。	<input type="checkbox"/> 授業の中で，学級の支持的風土を醸成する働き掛けを意識して行っている。
校内委員会等との協働	B	<input type="checkbox"/> 校内委員会など，複数で児童生徒への個別の支援の検討や評価をしている。	<input type="checkbox"/> 校内又は学年内，教科内で，UDの視点を生かした授業づくりについて共通理解し，取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 校内又は学年内で，学級経営やホームルーム経営についての方針を共通理解し，意識して取り組んでいる。
関係機関との連携	C	<input type="checkbox"/> 校内での対応が難しい場合は，必要な場合に関係機関と連携して取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> UDの視点を生かした授業づくりについて，必要な場合に，関係機関と連携して取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 学級づくりや仲間づくりについて，必要な場合に，関係機関と連携して取り組んでいる。
保護者との連携	D	<input type="checkbox"/> 保護者や本人の，個別の支援に関する要望を把握している。又は，個別の支援について保護者と建設的対話ができている。	<input type="checkbox"/> 日頃から，全ての児童生徒にとって分かりやすい授業をしていることについて，通信や懇談会等を通して，保護者全員に理解を促す取組をしている。	<input type="checkbox"/> 保護者が，「我が子は学級や学校にとって大切な存在なのだ」と実感できるよう，意識して働き掛けている。